

しののい まちの教室

寺社マッピング 調査票

「しののい まちの教室」では、「地域に点在する寺社という“異空間”を、私たちはいかに活用できるのか？」というテーマでワークショップを企画しております。

寺院は昔、名付け親であり寺子屋であり孤児院であり職業安定所であり、集会所でもありそして葬祭の担い手でもありました。縁切寺、駄込寺など一般社会を追われた人のアジール（聖域）として機能したお寺もありました。

講師の知人で、「お寺で樹齢何百年という木を見ていたら、自殺未遂したい気持ちがやんでしまった」という人もいます。防犯等さまざまな問題もあるのですが、「このお寺は毎月何日に〇〇をやっている」、「日没まで自由に本堂に入ってお参りできるお寺はココ」、といった情報をもりこんだ寺社マップを作成し、地域再生の拠点として寺社を活かすアイデアについて考えてみたいと思っております。

つきましては、ご多用中たいへん恐縮ではございますが、以下の調査にご協力いただければ幸甚です。

しののい まちの教室

12月21日午前部 講師

『いいお坊さん ひどいお坊さん』著者

勝 桂子（すぐれ・けいこ）

※質問①が「しない」の場合は、枠内未記入のまま提出いただいても構いません。

寺社名		お電話	
ご住所			

①檀信徒（氏子）以外でも日中のお参りを歓迎 する ・ しない

※「する」の場合は、一つ先の質問へお進みください。「しない」の場合、さしつかえなければ理由をお聞かせください。例)「檀信徒が静かに利用できることを大切にしたい」など。

()

・参拝の時間帯や曜日に制限があれば、参拝可能な時間帯を具体的にお書きください。

()

・(お寺) 本堂へあがってお参りしたり、泣いたりすることができますか？ 可 ・ 不可

※「可」の場合、条件があればお書きください。「寺務所へご一報いただいたうえで」など。

()

・入ってお茶を飲めるところ、読書できるところなど、貴寺（社）に空間としての楽しみかたのポイントがあればお願いします。例)「〇〇堂という建物に縁側があり、腰かけて読書できます」、「境内に樹齢〇〇年の霊木があり、前に佇むだけで落ち着きます」など。

()

②檀信徒（氏子）以外でも参加できる催しが ある ・ ない

※「ある」の場合、続けてお答えください。

・実際に近年開催した催し、定期的で開催されている催しがあれば、時期や内容をお聞かせください。イラストマップを作成しますので、詳細よりキャッチフレーズでお願いいたします。例)「年に数回詩の朗読会」、「毎月第三水曜日に写経会」など

()

③お寺を利用したい企画を持ち込めば、話を聞いていただける余地が ある ・ ない

・「ある」の場合、どのような企画であれば開催してみたい、というご希望があればお聞かせください。例)「若い人が集まる催し」、「地域のかたのサークルの活動に場所を提供」、「お墓を買ってくれそうな世代が集まる相談会」など。

()

④その他、寺社活用のアイデアやご意見がありましたら、自由にお書きください。